

平成23年度 決算説明書／事務事業評価シート

前年度課室名	男女共同参画室
課名	まちづくり推進課

予算	款	項	目	決算書
	3	1	4	102 頁

目 名
人権推進同和対策費

事務事業名称
男女共同参画事業

1. 概要

目的	男女が、互いの人権を尊重し、協力しあい、いきいきとした人生を送ることができる社会の実現	対象	一般市民
事業概要	<p>○男女共同参画社会啓発事業・・・地域・性別・年代など、対象を考慮した地域課題解決のための実践的講座の開催 [対象:一般市民 講座開催数 27回 参加者 約650人]</p> <p>○独身男女の出会い応援事業・・・各種出会いイベント企画運営・相談業務・個人や企業の協力体制を図る委託事業 [対象:一般市民 参加者 497人 結婚3組 カップル15組]</p>		

臨/経	事業名	事業内容 (主な経費等)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				評価
					国・県支出金	市債	その他	一般	
経常	男女共同参画社会啓発事業	講師謝金等 報償費	1,062	918				918	3
臨時	独身男女の出会い応援事業	ふるさと雇用委託事業 委託料	11,891	11,891	11,741		150		2
	廃止								
臨時	女性の人材リスト作成事業								
臨時	男女共同参画市民意識調査								
計			12,953	12,809	11,741	0	150	918	

2. 指標設定

成果指標	指標名	男女が平等と思える満足度	目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値	30%			県の参画プランの数値目標を参考とした。市総合計画/後期基本計画において、基本施策(6-2-2)では、男女共同参画社会の実現としており、数値として5年おきの意識調査により「男女が平等と思える満足度」について把握できる			
活動指標	指標	a 男女共同参画の周知度	b	固定的役割分担意識の解消	c	審議会等への女性の登用率	d	啓発講座の数
	数値	目標 100%	目標	65%	目標	50%	目標	30回

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H21	H22	H23
男女が平等と思える満足度	%	—	19.8 %	—
			66.0 %	

活動指標名	単位	H21	H22	H23
a 男女共同参画の周知度	%	—	55 %	—
b 固定的役割分担意識の解消	%	—	57 %	—
c 審議会等への女性の登用率	%	21.6 %	24.7 %	26.1 %
d 啓発講座の数	回	32 回	35 回	27 回
		106.0 %	116.0 %	90.0 %

4. 課題と対応

課題
男女共同参画は、すべての分野での推進が必要。特に女性の社会参画を推進するための環境整備、男女の意識改革、企業や事業所への啓発について課題があり、必要性を知ってもらうことが重要である。
対応（改善点等）
多岐にわたる事業展開が必要なことから、全庁的な取り組みを推進していく。実践講座の実施や、女性人材リストの充実と活用、併せてネットワークづくりの推進を一層図り女性の社会参画をすすめる。

5. 事業費・・・H21～H23（決算額）、H24（予算現額）

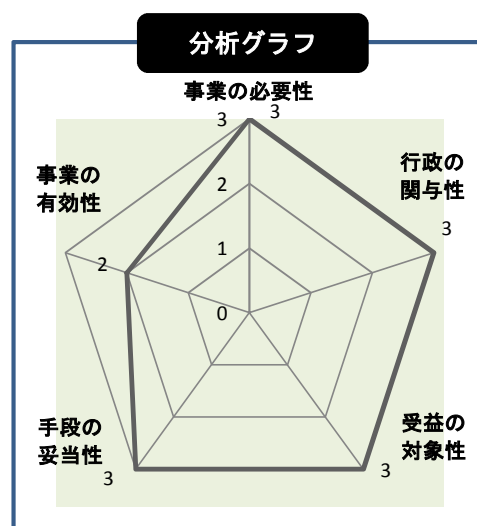
決算額（千円）		H21	H22	H23	H24
		18,525	26,614	12,809	775
うち経常経費		923	1,697	918	775
財源内訳	国費				
	県費	17,602	24,755	11,741	
	市債				
	その他			150	
	一般財源	923	1,859	918	775
うち経常		923	1,697	918	775
事業費に係る人件費		4,267	8,759	8,600	8,588

6. H25年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
全庁的な視点で事業を展開する

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 少子高齢化社会の中で、女性の参画の必要性、市民協働による男女共同参画の推進と自主的地域づくり活動への期待
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 男女共同参画社会基本法での位置づけ
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 さまざまな対象者向けに事業を展開している
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 目的達成のために適切な手段である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 依然として男女平等意識が低い



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	全庁的な取組と効率的な予算執行により、男女共同参画の施策を着実に推進すること。